

令和3年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
土岐 和貴 議 員	1 障害者雇用促進について	<p>町内で暮らす障害者の中で「少しでも働きたい」と意欲をもって生活されている方々も少なくない。しかし受け入れ先が少ない現状がある。一般企業には勤められないが、短時間での就労であれば、無理なく障害者の方々が活躍できる場を提供でき、大きな社会貢献につなげていけると考える。</p> <p>(1) 本町での障害者雇用促進に向けて取り組んでいる、計画中の事業はあるか見解を伺う。</p> <p>(2) 近年、農業と福祉の融合「農福連携」が注目されている。本町での農福連携に対する考え方や現在の取り組みについて伺う。</p> <p>(3) 町単独の企業等への助成制度を設け、受け入れやすい環境を整えていくことで障害者雇用の拡大に繋がると考えるが見解を伺う。</p> <p>(4) あまみ障害者就業・生活支援センターと連携を図りトライアル雇用制度などを活用し、社会性を養い、安定的かつ継続的な就労支援の充実が必要不可欠だと考えるが見解を伺う。</p> <p>(5) 庁舎内に求人掲示板など設置し、企業や町民の悩みや不安を解消できる共有スペースが必要であると考えが見解を伺う。</p>	町 長
	2 観光業や漁師の現状について	<p>10月に砂浜を埋め尽くす大量の軽石が漂着し、観光業や漁師にも大きなダメージを与えている。軽石の影響でエンジントラブルも続いているが、それだけではなく、近年資源管理のルールを十分に認識していない町民による個人的な消費を目的とした密漁も発生している。</p> <p>(1) 軽石被害の現状や被害額について伺う。</p> <p>(2) 軽石の影響で観光業や漁師は不安を抱えながら日々過ごしている。対応策や現在の取り組みについて伺う。</p> <p>(3) 近年、密漁が増えていると漁業関係の方々から報告を受けている。本町での対応策や取り組みについて伺う。</p> <p>(4) 町民に認識してもらえるよう漁協組合と連携を図り広報喜界などを活用し、資源管理のルールを伝えていく必要があると考えるが見解を伺う。</p>	町 長
	3 本町における情報交流の拠点づくりについて	<p>平成14年8月に喜界町単独事業として事業推進協議会を設立。その中で喜界町アンテナショップ事業がスタートした。島内外の「島を思う気持ち」を形にして人・物・情報の交流拠点づくりを目指す事業である。</p> <p>(1) 喜界町アンテナショップの現状について伺う。</p> <p>(2) アンテナショップは物を販売するだけではなく「島を思う」人と人がネットワークを通して繋がり、お互いに情報を共有し、島の発展に大きな影響を与える事業だと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 設立当初の様に町長が推進協議会長を努め、大きな受け皿を設けることで島の発展に大きな影響を与えると考えが見解を伺う。</p>	町 長

令和3年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
倉橋 博都 議 員	1 野良猫について 2 避難場所について	<p>最近、道路走行中に野良猫が多くみられる。また道路を走行中に車にはねられて、亡くなっている猫もみられる。これからの野良猫対策について伺う。</p> <p>(1) 野良猫を捕獲するカゴは何個あるのか。また、何匹ぐらい捕獲されているのか。</p> <p>(2) 獣医師が診察に来るまで一時預かりは出来ないか。</p> <p>(3) 年間、何匹ぐらい診察されているのか。</p> <p>(4) 獣医師の船運賃を補助出来ないか。</p> <p>(5) 飼い猫の登録は出来ないか。</p> <p>災害時、海岸近くの老人ホーム入居者の避難場所及び避難訓練について</p> <p>(1) 地球温暖化の影響で、台風が巨大化になると考えられる。また、南海トラフ地震による巨大津波も予想されることから、年に1回程度の避難訓練は出来ないか</p> <p>(2) 巨大津波を想定した、避難場所の確保は出来ているのか。</p>	町 長
幸 一美 議 員	1 自然災害の対応について	<p>(1) 台風や地震、津波による家屋の倒壊について</p> <p>① 仮設住宅や災害住宅の建設が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 移動手段として車両や災害復旧車両等の燃料確保について</p> <p>① 給油会社との契約締結状況はどうなっているか。</p> <p>(3) 消火活動、怪我人の救出について</p> <p>① 外海離島という事で島外からの応援要請は困難と考えるが現状での対応を伺う。</p>	町 長
生島 常範 議 員	1 高齢者の健康増進 社会参加活動促進 について	<p>(1) 鹿児島県が65歳以上の方を対象に健康維持や介護予防、社会参加促進を目的に、「高齢者元気度アップ・ポイント事業」を推奨している。奄美群島内12市町村の中で唯一喜界町だけが、数年前から中止しており個人向け、グループ向けを含め、復活を望む声が多い。</p> <p>① 高齢者ご本人の生きがい、地域活性化、医療費抑制なども期待できる事業。再度実施する考えはないか伺う。</p> <p>② 毎朝集落の砂浜の美化活動をしているグループが前回のグループ向け事業の申請で「不承認」になった経緯がある。こうした行政に頼らない、自発的な地域活動こそ喜界町に必要な有難い活動。そうした活動を支援し、育てるのも同事業の目指す所と考えるが見解を伺う。</p>	町 長

令和3年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
生島 常範 議 員	2 町民憲章が目指す「美しい町」について	<p>(1) 喜界町は「日本で最も美しい村連合」に加盟し、これから「ジオパーク（大地の公園）」参加も目指している。一方で、足元には空き缶、ペットボトルのポイ捨て、不法投棄の改善が見られないのも現状である。</p> <p>① 毎月第3日曜日「家庭の日・ふるさと美化活動」の日に町挙げて美化活動に取り組もうと呼びかけているが、実施状況及び同日に於けるクリーンセンターへの一般ごみ持込状況（件数）を伺う。</p> <p>② 毎月第3日曜日の美化活動は以前から教育委員会が中心となり、広報誌や町民へ広く呼びかけていた。原点に立ち返り、広報誌や直前の行政無線での広報活動が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>③ 人間の心理として、草むらにゴミを捨てる傾向がある。農道脇や林道脇を綺麗な状態に保つ為、耕作者、関係地区団体への呼びかけ等必要と思うが、見解を伺う。</p> <p>④ 集落内農道脇に「たるか（誰）？」「たるよ（誰なの）？」等ユニークな立て看板を立て、効果があるという。この種の立て看板を不法投棄やごみのポイ捨て多発箇所に設置してはと思うが、見解を伺う。</p>	町 長
	3 行政無線の「時を告げる音楽」について	<p>(1) 島の子ども達の耳に日頃から「喜界島の音文化」を届ける事は、本町が目指す「ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持つ教育」の実践だけでなく、町民全員にも島の文化を見直す、良い機会となる。更に、来島者には個性豊かな「島の音楽」を紹介できる正に三方良しのアイデアだと思う。</p> <p>① 県内には、「夕焼け小焼け」に代わって地元の民謡を行政無線で流している所もある。喜界町も「シマ唄」、「八月踊り唄」、「新民謡」等を「時を告げる音楽」に取り入れて、定期的に更新して放送しては如何かと思うが、見解を伺う。</p>	町 長
	4 しまゆみた、八月踊り継承について	<p>(1) 沖縄県と沖永良部島が「しま言葉意識調査」を実施した結果、沖縄県は、82.2%の県民が「子ども達にしまくとぅばを使って欲しい」と回答。沖永良部の調査でも89%の人が「次世代に方言を継承したい」と回答している。本町の子ども達や学校の関心も高い。</p> <p>① しまゆみた同様、八月踊り等も含め伝統文化は家庭や集落単位で継承する機運を高め、行政が支援する形が理想。その為にも、沖縄県や沖永良部島同様、アンケート実施により、町民の意識の高まりが期待出来ると思う。本町でも必要と思うが、見解を伺う。</p>	教育長
良岡理一郎 議 員	1 軽石の被害と対策について	<p>8月に小笠原諸島の海底火山噴火によって発生した軽石が喜界島にも漂流、漂着、堆積している。町民の生活や漁業に深刻な被害が出ている。</p> <p>(1) 漂着、堆積した軽石や入江内と喜界島の周辺に漂流している軽石の回収、除去が喫緊の課題である。本町の被害及び対策実施状況、今後の見通しについて伺う。県や国の本町への支援も求められている。どのような支援が検討、実施されているか。</p>	町 長

令和3年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
良岡理一郎 議員		<p>(2) 漁業者は新型コロナによる需要の減少、単価の低下で困っているところに、今回の軽石被害である。軽石が漂着した10月初旬以降、思うように出漁できない状況にある。漁船のエンジンのオーバーヒート等により漁場から自力で動けず曳航された漁船も多いと聞く。また、旧タイプの漁船には冷却のための給水口にフィルター機能の「こしき」の設置が必要である。漁業従事者の皆さんは解禁されたばかりのソデイカ旗流し漁の漁具の未回収、エンジンの修理、吸水口への新たな「こしき」の設置など多額の費用支出が強いられている。町としての支援が必要かと思うがいかがか。</p> <p>(3) 本町の火力発電はタンカーで運ぶ重油を燃料として発電機は大量の海水で冷却している。安定して電力を供給するための対策を伺う。</p>	町長
	2 新型コロナウイルス対策について	<p>(1) PCR検査等の拡充について</p> <p>① 町内で行政検査外に有料でも検査を希望する場合の対応についての進捗を伺う。</p> <p>② 効果的、効率的なPCR検査は、喜界町入島前のハブ空港である奄美空港、鹿児島空港、船便は鹿児島港での検査が有効である。関係者での協議を始めたかどうか。</p> <p>(2) 陽性確認者の隔離、治療について</p> <p>① 陽性が確認された場合の隔離の順序は医療機関、宿泊療養施設である。自宅での隔離は避けるとするのが県、町の方針であるが如何か。</p> <p>② 医療機関や宿泊療養は奄美医療圏で療養するものであるが搬送方法について伺う。</p> <p>(3) 3回目のワクチン接種の計画について</p> <p>① その必要性</p> <p>② 対象者数</p> <p>③ 新学期を想定し教職員を医療従事者等と同時期に接種できないか。</p> <p>④ この間一度も接種を受けてない方が、新たに希望する場合の対応。</p>	町長
	3 シカの被害と対策について	<p>(1) 野生化したシカは、サトウキビ、牧草、柑橘類、バナナ、最近では山芋の被害も出ている。鹿の目撃情報や足跡も確認されている。捕獲状況と今後の対策について伺う。</p> <p>① 平成29年度から直近までの年度別捕獲状況</p> <p>② 前回の生息数調査では115頭が確認されている。本年度は2回目の生息数調査が予定されている。進捗状況は如何か。</p>	町長
	4 津波対策について	<p>(1) 本町ハザードマップによれば近い将来5mから10mの津波を想定している。2点伺う。</p> <p>① 消防分署の高台移転の検討は進んでいるか。</p> <p>② 湾宮戸団地の津波対策はどのように認識されているか。</p>	町長

令和3年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
米田 信也 議 員	1 軽石問題について	(1) 漂着、浮遊している軽石について ① ビーチ、磯、たまり（いのう）に漂着した軽石の回収除去について伺う。 ② ビーチ内に浮遊している軽石の回収について伺う。 ③ 回収除去した軽石の利用方法などの見解を伺う	町 長
	2 スズメバチ調査について	(1) スズメバチが花良治集落で確認され、一つの巣は駆除され更に、3個の巣が発見された状況を踏まえ、今後、更なる全島調査を行う必要があると思われるが見解を伺う。	町 長
野間 弘也 議 員	1 ICT(情報通信技術)活用に向けた取り組みについて	(1) 全国的にICT(情報通信技術)を活用する動きが加速しているが本町の取り組みについて伺う。 ① タブレット端末を活用したペーパーレス化の取り組みを検討できないか見解を伺う。 ② ICT活用において、マイナンバーカードの普及は不可欠との見解があるが本町での取り組みについて伺う	町 長